

2021 年度 大阪大学 (前期)

医学部

試験時間 : 150 分

📖 全問必答

1 a, b を $ab < 1$ をみたす正の実数とする。 xy 平面上の点 $P(a, b)$ から、曲線 $y = \frac{1}{x}$ ($x > 0$) に 2 本の接線を引き、その接点を $Q(s, \frac{1}{s})$, $R(t, \frac{1}{t})$ とする。ただし、 $s < t$ とする。

- (1) s および t を a, b を用いて表せ。
- (2) 点 $P(a, b)$ が曲線 $y = \frac{9}{4} - 3x^2$ 上の $x > 0, y > 0$ をみたす部分を動くとき、 $\frac{t}{s}$ の最小値とそのときの a, b の値を求めよ。

2 空間内に、同一平面上にない 4 点 O, A, B, C がある。 s, t を $0 < s < 1, 0 < t < 1$ をみたす実数とする。線分 OA を $1 : 1$ に内分する点を A_0 、線分 OB を $1 : 2$ に内分する点を B_0 、線分 AC を $s : (1 - s)$ に内分する点を P 、線分 BC を $t : (1 - t)$ に内分する点を Q とする。さらに、4 点 A_0, B_0, P, Q が同一平面上にあるとする。

- (1) t を s を用いて表せ。
- (2) $|\vec{OA}| = 1, |\vec{OB}| = |\vec{OC}| = 2, \angle AOB = 120^\circ, \angle BOC = 90^\circ, \angle COA = 60^\circ, \angle POQ = 90^\circ$ であるとき、 s の値を求めよ。

3 n を自然数とし、 t を $t \geq 1$ をみたす実数とする。

- (1) $x \geq t$ のとき、不等式

$$-\frac{(x-t)^2}{2} \leq \log x - \log t - \frac{1}{t}(x-t) \leq 0$$

が成り立つことを示せ。

- (2) 不等式

$$-\frac{1}{6n^3} \leq \int_t^{t+\frac{1}{n}} \log x \, dx - \frac{1}{n} \log t - \frac{1}{2tn^2} \leq 0$$

が成り立つことを示せ。

- (3) $a_n = \sum_{k=0}^{n-1} \log\left(1 + \frac{k}{n}\right)$ とおく。 $\lim_{n \rightarrow \infty} (a_n - pn) = q$ をみたすような実数 p, q の値を求めよ。

4 整数 a, b, c に関する次の条件 (*) を考える。

$$\int_a^c (x^2 + bx) \, dx = \int_b^c (x^2 + ax) \, dx \dots\dots (*)$$

- (1) 整数 a, b, c が (*) および $a \neq b$ をみたすとき、 c は 3 の倍数であることを示せ。
- (2) $c = 3600$ のとき、(*) および $a < b$ をみたす整数の組 (a, b) の個数を求めよ。

5 次の問いに答えよ。

- (1) a を実数とする。 x についての方程式 $x - \tan x = a$ の実数解のうち、 $|x| < \frac{\pi}{2}$ をみたすものがちょうど 1 個あることを示せ。
- (2) 自然数 n に対し、 $x - \tan x = n\pi$ かつ $|x| < \frac{\pi}{2}$ をみたす実数 x を x_n とおく。 t を $|t| < \frac{\pi}{2}$ をみたす実数とする。このとき、曲線 $C: y = \sin x$ 上の点 $P(t, \sin t)$ における接線が、不等式 $x \geq \frac{\pi}{2}$ の表す領域に含まれる点においても曲線 C と接するための必要十分条件は、 t が x_1, x_2, x_3, \dots のいずれかと等しいことであることを示せ。

2021 年度 大阪大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

$$(1) s = \frac{1 - \sqrt{1 - ab}}{b}, t = \frac{1 + \sqrt{1 - ab}}{b} \quad (2) \text{ 最小値: } 3, a = \frac{1}{2}, b = \frac{3}{2}$$

2

$$(1) t = \frac{2s}{s+1} \quad (2) s = \frac{1}{5}$$

3

$$(1) \text{ 証明は省略} \quad (2) \text{ 証明は省略}$$
$$(3) p = 2 \log 2 - 1, q = -\frac{1}{2} \log 2$$

4

$$(1) \text{ 証明は省略} \quad (2) 180 \text{ 個}$$

5

$$(1) \text{ 証明は省略} \quad (2) \text{ 証明は省略}$$